

衆院選が終わり、株価軟調。為替も円高への動きを見せた。米国株式市場でも動きが鈍っており、外国人投資家の買いが細っているなか、株価は下値模索の可能性もあろう。一方、国債相場は反発した。

今週は、米国雇用、わが国のGDP速報、景気ウォッチャー調査の分析をおこなった。また、来週は2004年度経済見通し(改訂版)を掲載するので、御覧頂きたい。

市場の動き (11/10 ~ 11/14 午後)

発表経済指標

衆院選挙は与党が安定多数を占め、当面は大きな政府や政局の変化が生じるとは考えにくい。しかし、小党が議席を減らし壊滅的打撃を受ける一方、民主党が議席を増やし、本格的な2大政党政治のスタートとなった選挙という評価も出来よう。

わが国の7~9月期実質GDPの前期比成長率は+0.6%。予想コンセンサスよりは高めであったが、プラス予想が多くなっていたことから反応薄。また、機械受注(船舶・電力除く民需)が3ヶ月連続の減少となったが、製造業は反転していること、および通信業の受注減少の寄与が大きかったものの、同セクターの03年度設備投資は5%程度の増加計画で今後の受注が期待されることから、機械受注の減少をもって景気腰折れ懸念を言い出すことは早計だろう。

株式相場

外人売り越し

円高、小泉求心力

低下の観測も売り材料

中間決算発表も進み、製造業を中心に好決算発表が続いているが、買い材料としてはとりあえずのところ織り込まれた感がある。米国の投信不正疑惑のもとで、米国株式市場に様子見気分が強まっているなか、外国人投資家の寄付き前売買動向は、13日を除き、売り越し。外国人の買いが止まったことがうかがわれる。

また、衆議院選挙を終え、保守新党が解党し自民党 - 公明党の与党間協力体制への対立点の浮上懸念や与党内での求心力低下から、今後の小泉改革が混迷するとの見方も、売りの一因となっていると思われる。さらに、一時107円台へ円上昇に下落材料となった。テクニカル的にも抵抗線近辺に近づいており、下値を模索する展開も予想される。

国債相場

株安、円高がフォロー入札こなし 需給不安後退し安心感

株価の軟調展開や円高から景況感への悪影響が懸念されたことに加え、11日の5年国債入札(応募倍率: 2.54倍)、13日の30年国債入札(応募倍率 2.60倍)をこなし、需給不安が後退。買い安心感から、国債相場は堅調に推移。債先(12月限)は10日から3日続伸。13日は反落したものの、14日は反発した。新発10年国債利回りも1.345%まで低下した。

しかし、反落への警戒感も根強く、一本調子の相場上昇となるかは慎重に見なくてはならないだろうが、株価(下落)、為替(円高)が国債相場にとって買い材料となる状況が当面、見込まれる。

なお、衆院選挙が終わり小泉政権への配慮が後退するとの思惑が円高要因となる一方、イラクでのテロがサウジをはじめとする中東全域に飛び火し、再び、地政学的リスクが高まるとの見方が台頭。ユーロは切り返し、1€ = 1.17円後半にユーロが上昇した。

(渡部 喜智)

無断転載を禁ず。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任で御願いたします。



Weekly 金融市場 Today's Viewpoint

(03/11/14) 農林中金総合研究所 調査第二部 国内経済金融班 (全14ページ)

主な出来事 (1 / 07 ~ 11 / 14)

月日	政治 財政	経済 金融	海外 その他
11月7日(金)	地方制度調査会、自治体規模の目安の扱いについて、「人口1万人未満」を合併勧告の対象とすることで了承。13日に最終答申へ。	・NTTドコモ、ギリシャのコスモモバイルテレコミュニケーションズと、車道に関する戦略的提携で合意。04年オリンピック開催時期までに車道サービスを開始へ ・アイワイバンク銀行の9月中間決算、税引き後利益が1億円の黒字。異業種から新規参入した銀行で初めて黒字に転換	・アテネ五輪警備視察の米長官到着直後にギリシャで連続爆弾テロ発生
11月8日(土)		・松下電器産業、国内でのテレビ向けのブラウン管製造の中止を発表。国内電機大手はすべてテレビ向けブラウン管の国内製造から撤退へ。	・フィリピン支援国会合で、日米欧などがフィリピンに対し、汚職追放など投資環境改善を求める共同声明を発表 ・サウジアラビア・リヤドでアルカイダによる自爆テロとみられる爆発事件発生 ・アウン・サン・スー・チーさん、軍事政権による自宅軟禁が解除されたものの、受け入れを拒否
11月9日(日)	・第43回衆院総選挙、自民単独過半数割れとなったものの、与党3党で275議席を確保。小泉首相は続投、3党連立政権は継続へ ・最高裁判所裁判官の国民審査、9人全員が信任		
11月10日(月)	・保守新党、衆院選での惨敗を受け、解党した上で自民党に合流することを決定	・ソフトバンク03年9月中間期の連結決算、773億円の最終赤字と、中間期としては過去最大の赤字。	・イランがウラン濃縮を一時停止
11月11日(火)	・小泉首相、イラク人道支援の現地調査から帰国した岡本首相補佐官と会談、人道支援の早期実施を指示	・三菱自動車03年9月中間期連結決算、純損益は802億円の赤字 ・NTT03年9月中間期連結決算、営業利益が過去最高の8366億円 ・UFJ信託銀行、保有している取引企業の株式の運用、管理などを専門に行子会社を設立したと発表	・北朝鮮、植民地支配時の人権被害で日朝会談を提案
11月12日(水)	・財務省、03年度上半期の経常収支黒字額が前年同期比20%増の8兆3520億円で過去最高	・あおぞら銀行、住友信託銀行の水上取締役兼常務執行役員を社長に充てる人事を内定 ・丸紅、取引先19社を対象に優先株を発行し、755億円の第三者割当増資を12月に実施すると発表	・イラクでイタリア軍警察現地本部への自爆テロ発生 ・パレスチナ自治政府の第2次クレイ内閣の就任宣誓式が行われ、新内閣が正式に発足
11月13日(木)	・社民党の土井党首が辞任表明 ・政府、道路公団総裁に自民党の参議院議員近藤剛氏を起用する人事を内定	・任天堂9月中間連結決算、上場以来初の赤字決算。為替差損403億円で中間最終赤字28億円 ・ソニー、新潮社など15社、電子書籍事業を手掛ける新会社を共同で設立したと発表	・ブッシュ米大統領、イラク人への主権移譲を積極的に進める考えを表明
11月14日(金)	・日本とベトナム、知的財産権の保護強化のため、投資協定に署名 ・ラムズフェルド米国防長官が来日、小泉首相と会談	・楽天、ネット專業証券大手のDLJダイレクトSFG証券を年内メドに買収することで基本合意したと発表	

無断転載を禁ず。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任で御願いたします。

ご意見・ご感想はこちらまで。E-mail taguchi@nochuri.co.jp Phone 03-3243-7355



農林中金総合研究所 2/14

Weekly 金融市場 Today's Viewpoint

(03/11/14) 農林中金総合研究所 調査第二部 国内経済金融班 (全14ページ)

(入札結果・価格競争入札のみ)

入札日	名称	発行予定額	応募額	割当額
11月11日(火)	5年利付国債	1.9兆円	4兆7,742億円	1兆8,830億円
11月12日(水)	政府短期証券(13週)	3.9兆円	102兆8,923億円	3兆9,408.4億円
11月13日(木)	30年利付国債	4,000億円	1兆422億円	4,007億円

今週の注目ポイント

月日	政治日程等	国内経済指標等	海外経済指標等
11月17日(月)	・自民党と保守新党が合併協議書に調印 ・独立行政法人評価委員会 ・福井日銀総裁講演	・マネタリーサーベイ(9月) ・企業倒産(10月)	米 イングランド・エンバィ製造業レポート(11月) 米 企業在庫(9月)、月次財政収支(10月) 英 FRBのグリーンズパン議長、講演 欧 ユーロ圏、外相会談(18日まで)
11月18日(火)	・東アジア経済連携シンポジウム(日経ホール) ・国債市場懇談会、来年度の国債発行計画など ・経済財政諮問会議	・粗鋼生産(10月)	米 消費者物価指数(10月) 米 NAHB住宅市場指数(11月) 英 スノー財務長官、ブラウン財務相講演 ・欧 ユーロ圏外相会談にパウエル米国務長官が出席 欧 ユーロ圏、鉱工業生産(9月) 欧 ユーロ圏、消費者物価指数(10月)
11月19日(水)	・特別国会召集、首相指名(第2次小泉内閣が発足見込み)	・貸出先別貸出金(国内銀行9月末) ・石油消費動態統計(9月)	英 ブッシュ米大統領が訪英(21日まで) 米 シュローダー独首相が訪米(20日まで) 米 MBA週間住宅ローン申請指数 米 住宅着工(10月)、建設許可数(10月) 欧 ユーロ圏の貿易統計(9月速報)
11月20日(木)	・財政制度審議会、財政制度分科会 ・日銀、政策委員会・金融政策決定会合(21日まで) ・政府「月例経済報告」	・貿易統計(10月) ・対内外証券投資(先週分) ・コンビニエンスストア売上高(10月)	米 フィテルフニア連銀製造業景況指数(11月) 米 新規失業保険申請件数 米 失業保険継続受給者数 米 景気先行指標総合指数(10月) 英 イングランド銀行キング総裁、議会証言 独 ECBのトリシェ総裁、講演
11月21日(金)	・関税・外国為替審議会、関税分科会 ・日銀、「金融経済月報」	・第三次産業活動指数(9月) ・電力需要速報(10月) ・特定サービス産業動態確報(9月) ・単身世帯消費動向調査(9月)	
11月22日(土)	・外務省タウンミーティング		
11月23日(日)			

国債 短期証券の入札予定 (11月)

入札日	入札対象国債	
11月17日(月)	割引短期国債(1年)	1.7兆円程度
11月18日(火)	15年変動利付国債	1.0兆円程度
11月19日(水)	政府短期証券(13週)	3.9兆円程度
11月20日(木)	20年利付国債	5,000億円程度

◆決算発表-(17日)電通、石川島播磨重工業、富士重工業(18日)東京電力、日立造船(19日)日揮、関西電力(20日)JFEホールディングス、神戸製鋼所、日産ディーゼル工業、楽天(21日)9月中間決算の発表集中日(20社以上)

◆米決算発表-(17日)トイザラス(18日)ヒューレット・パカード、ホーム・デポ(20日)ギャップ、ノードストロム、ディズニー
(公表資料に基づき木村作成)

無断転載を禁ず。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任で御願いたします。

ご意見・ご感想はこちらまで。E-mail taguchi@nochuri.co.jp Phone 03-3243-7355



農林中金総合研究所 3/14

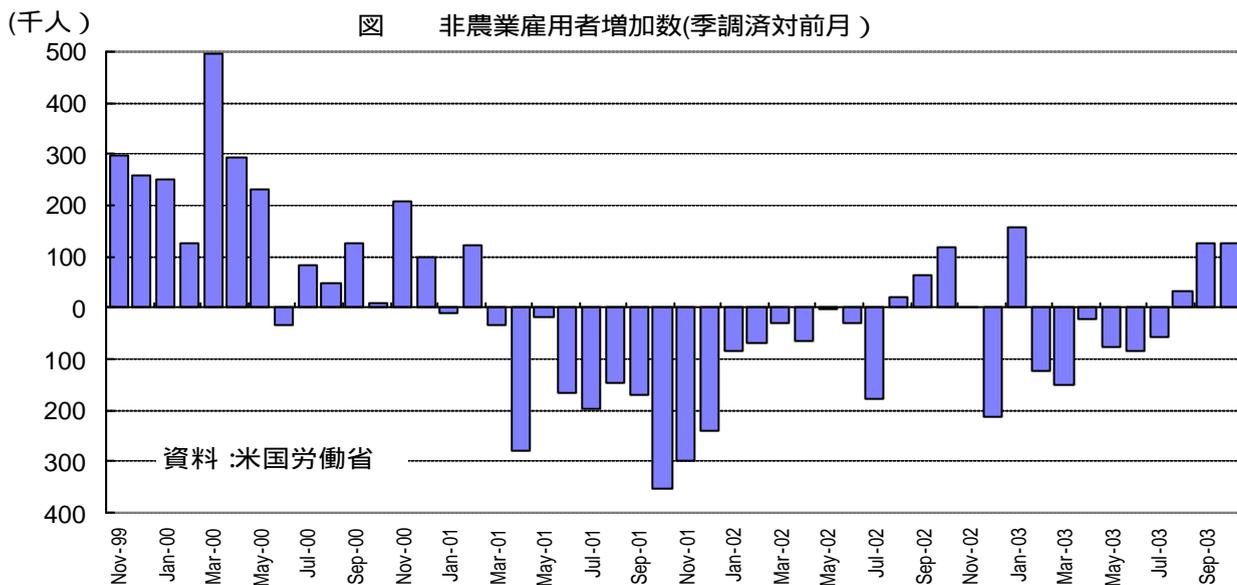
Weekly 金融市場 Today's Viewpoint

(03/11/14) 農林中金総合研究所 調査第二部 国内経済金融班 (全14ページ)

< 今週の指標分析・注目点 >

増加に向けた足取りを固めつつある米国雇用 ～ 製造業の雇用者数は依然として減少～

米国の2003年10月の雇用統計によれば、失業率は6.0%と対前月0.1ポイント低下し、非農業雇用者数は対前月で12万6千人増加した。非農業雇用者増減数については、1ヶ月前に公表された8月と9月の数字がそれぞれ「41千人 +35千人」、47千人 +125千人」と上方改訂された。この結果雇用者数は3ヶ月連続で増じた(図参照)。業種別にみると、企業向けサービス業、医療、保険業、建設業等、非製造業の雇用が増加している一方で、製造業では全般に雇用が減少している。



これまでジョブレス・リカバリー(雇用なき回復)とわれていた事情に、変化が生じたのであろうか。雇用指標の動きは一般に景気に対して遅行するため、景気回復の恩恵がようやく雇用にも及んできたといえるが、この問いに答えるには、最近の米国雇用増減の構造的要因として内包する強み・弱みを押さえておく必要がある。

強みは、雇用増を牽引する業種、即ちコンピュータシステム・ソフトウェア開発等を手掛ける企業向けサービス業の存在である。この分野では、マイクロビジネスと呼ばれる従業員数各程度の企業が盛んに誕生している。一方弱みは、雇用の外国への流出及び企業の福利厚生費負担の高まりの二つである。製造業の生産拠点が外国に移るのみならず、サービス業においても特定部門の業務を外国にアウトソースする動きが強まっている。また、企業の従業員にかかる福利厚生費は現状年率6%を超える上昇率となっている。この費用増部分を販売価格に転嫁することが難しいため、企業は賃金上昇を抑制するか、新規雇用を手控える、といった措置をとっている。

ジョブレス・リカバリーとは、景気回復にもかかわらず、この弱みが雇用増を抑制している現象であり、今のところこの構造的要因に大きな変化はないと思われる。従って、今後大きな流れとしては緩やかな雇用増が見込まれるものの、紆余曲折も予想される。

今後の金融政策の焦点は、FRBがいつ金利上げに踏み切るかということになってきた。FOMCの声明文をみると、FRBは9月16日時点の情勢判断では「雇用は弱い」とみていたが、10月28日時点では「雇用は安定しつつある」と判断を修正した。今後物価上昇率の動向とともに、雇用増が金融政策に影響を及ぼすこととなる。

(永井 敏彦)

無断転載を禁ず。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任で御願いたします。



設備投資が牽引、7～9月期の実質成長率は前期比 :+ 0.6%

14日に発表された7～9月期の実質国内総生産 (GDP) は、事前の予想平均に比べ高めの前期比 :+ 0.6% (年率換算 2.2%) 増加。02年 1～3月期以降 7四半期連続のプラス成長である。

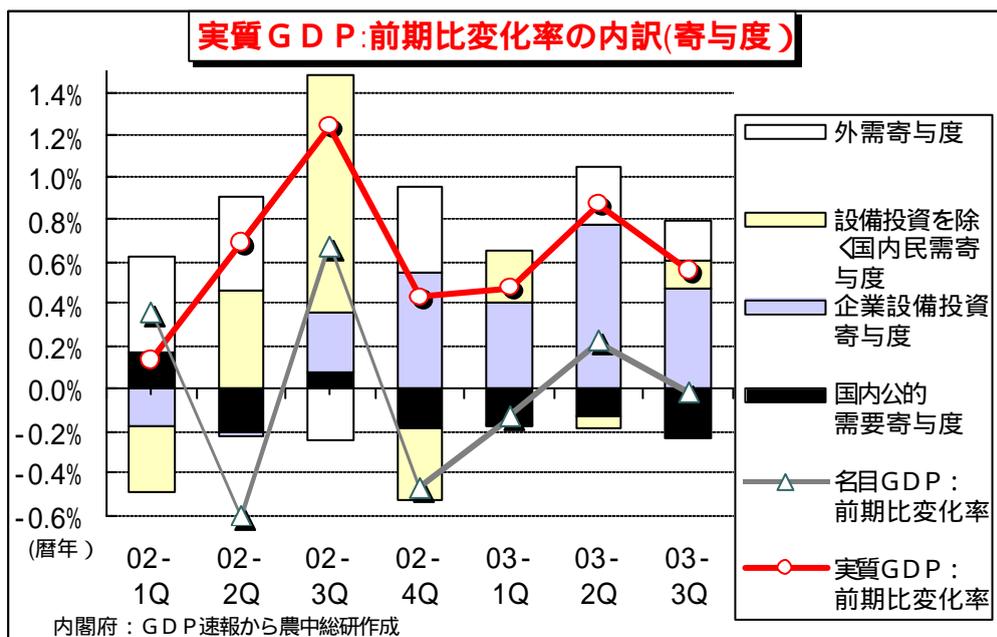
また、名目GDP成長率は 0.0% (-0.02%) とほぼ横ばい。この結果、GDPデフレーターは前年同期比 2.7% (前期比 : 0.6%) の下落が継続。特に民間企業設備投資デフレーターが前年同期比 : 7.3% (前期比年率換算でも 6.7%) と大幅な下落となっており、デフレ (物価の持続的な下落) 傾向は止まっていない。

需要項目別にみると、成長に寄与したのは民間企業設備投資。実質前期比 :+ 2.8% で 0.6% 成長のうち 0.4% の寄与度。これで 5 四半期連続のプラス。また、民間最終消費支出は実質前四半期比 + 0.0% (0.03%) で、冷夏等天候不順での季節商品の販売不調にもかかわらず、実質では横ばいを維持。民間住宅も、住宅ローン金利引上げなどによる着工増加を受け実質前期比 : 2.7% となり、+ 0.1% の成長寄与。国内民間需要全体では実質前期比 + 0.8%、寄与度は + 0.6% となった。

公的固定資本形成は実質前期比 : 3.9% のマイナス。政府最終消費支出は実質前期比 + 0.0% で、国内公的需要全体のGDP前期比に対する寄与度は 0.2% と 4 四半期連続のマイナス寄与であった。

財貨・サービスの輸出は実質前期比 :+ 2.8% で、4 四半期連続の増加。財貨・サービスの輸入もSARS終息の反動などもあって反転増加し、同 :+ 1.7% となったが、輸出の増加幅が大きかったことから、輸出と輸入の差である純輸出のGDP前期比に対する寄与度は + 0.2% と 2 四半期連続でプラス寄与であった。

世界的な景気好転と輸出増加の追い風を受け民間企業設備投資の増加がGDP成長を牽引。外需も成長に寄与している構図が続いているが、民間最終消費消費は名目では減少が続いており、国内景気の回復実感は引き続き緩慢である。 (国内経済金融班)



無断転載を禁ず。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任で御願いたします。

景気ウォッチャー調査 現状判断Dが50.8に上昇

～ 雇用関連が好調～

内閣府が11日に発表した10月の景気ウォッチャー調査によると、現状判断Dが前月比2.2ポイント上昇の50.8となり、2000年7月以来3年3カ月ぶりに景況感の分かれ目となる50を上回った。

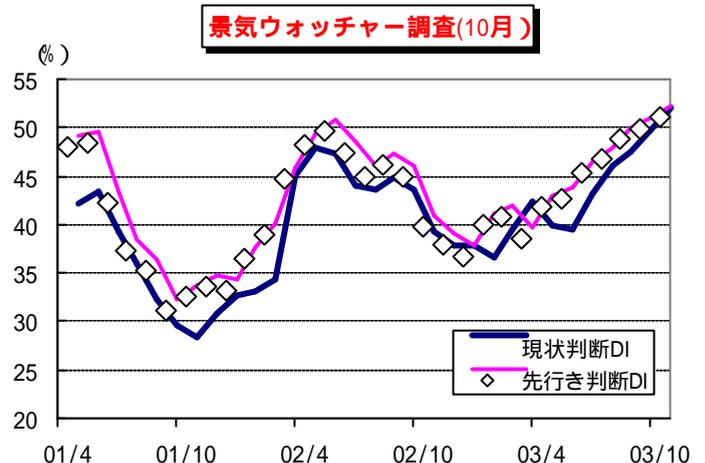
分野別の現状判断では、家計動向関連(前月比+2.6)、企業動向関連(同+1.3)、雇用関連(同+0.2)と全てのDが上昇。なかでも雇用関連Dは7月以降、4カ月連続の50超となった。

また先行き判断Dも、家計動向関連、企業動向関連、雇用関連と、すべてのDが上昇して50を超えた。先行き判断Dが50を上回るのは、2000年9月以来3年1カ月ぶりとなる。

企業動向関連では、「半導体製造は非常に忙しい。交代勤務のシフト変更などで対応している」(東北=その他企業)と製造業の持ち直しの動きを裏付けるような判断理由があった。

一方、「為替相場が、社内レートを大幅に上回る円高となっており、輸出環境が極めて悪化し、採算が一段と悪くなっている」(東北=一般機械器具製造)とのコメントもあり、円高の影響が懸念される。

(農中総研・木村俊文)



景気動向判断D I (全国)

(D I)	年月	合計	家計動向関連				企業動向関連			雇用関連	
			小売関連	飲食関連	サービス関連	住宅関連	製造業	非製造業			
現状判断	2003/05	38.4	37.4	37.7	37.3	35.6	42.6	39.5	39.6	39.2	42.4
	06	42.1	41.0	40.4	37.0	43.2	41.5	43.6	44.6	42.6	45.7
	07	44.9	43.4	40.8	43.8	48.6	44.4	47.2	48.5	45.7	50.6
	08	46.4	44.5	42.4	39.7	50.7	40.7	48.1	48.8	47.6	55.8
	09	48.6	46.2	46.3	41.5	46.3	49.1	51.2	50.5	51.9	60.0
	10	50.8	48.8	48.9	43.3	50.4	47.2	52.5	52.9	51.9	60.2
先行き判断	2003/05	42.6	42.1	41.9	38.9	43.9	40.6	42.5	43.8	41.0	46.0
	06	45.4	44.6	42.8	43.8	48.8	44.2	45.3	47.2	43.5	50.5
	07	46.8	45.7	44.2	47.4	49.1	43.5	47.6	51.4	44.1	53.2
	08	48.9	47.8	46.7	47.2	50.8	46.5	50.3	50.7	49.9	53.5
	09	49.9	49.0	48.4	49.4	50.9	46.8	49.7	49.2	50.5	56.6
	10	51.1	50.4	49.4	52.7	52.1	49.7	50.8	50.1	51.3	57.0

資料 内閣府「景気ウォッチャー調査」
(注) シャド-部分は50超を示す

無断転載を禁ず。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任で御願いたします。



Weekly 金融市場 Today's Viewpoint

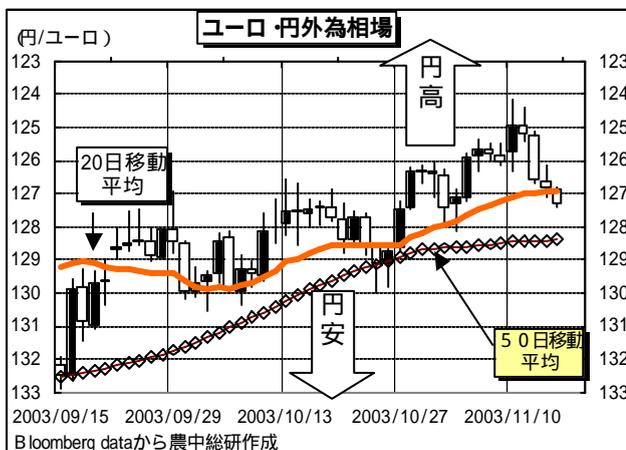
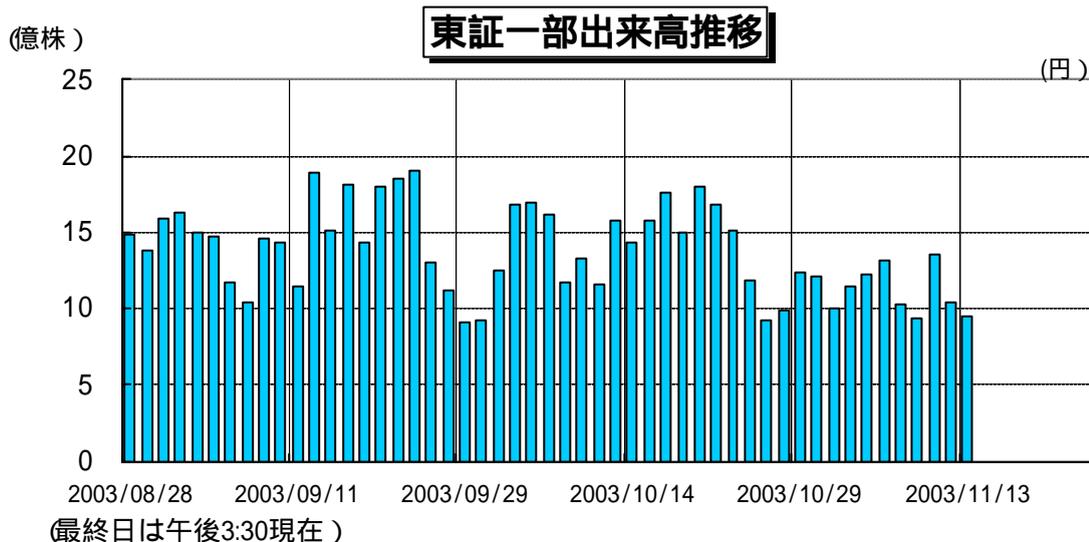
(03/11/14) 農林中金総合研究所 調査第二部 国内経済金融班 (全14ページ)

内外金融市場データ

	長期金利				短期金利				外国為替			内外株価指数				海外金利		その他			
	新発10年 国債利回り	優先物 10年物 期近価格	みずほ 5年物 新発5年 金融債 利回り	金利ス ワット5 年物(円) 仲 値	無担保 日 翌日 物	TIBOR ユーロ円 3ヵ月	LIBOR 円 3ヵ月	TIBOR ユーロ円 6ヵ月	金利先物 ユーロ円 中心限月	円ドル ・ス ポット レート	ユーロ・ ドル・ ス ポット レート	ユーロ円 ス ポット レート	日経平均 (225種)	TOPIX 終値	NYダウ 工業株 30種平均	ナスダック 総合	米 国 財 務 省 証 券 10年物 国債利回	LIBOR ドル 3ヵ月	NY 金先物 期近	WTI 期近	OPEC バスケット 価格
03/09/02	1.670	133.90	0.915	1.072	0.0010	0.0875	0.0534	0.1000	99.490	117.04	1.0861	127.12	10,690.08	1,028.91	9,523.27	1,841.48	4.599	1.14	373.30	29.41	27.52
03/09/03	1.600	133.91	1.162	1.102	0.0010	0.0875	0.0529	0.1000	99.495	116.16	1.0785	125.27	10,715.69	1,033.28	9,568.46	1,852.90	4.593	1.15	374.00	29.49	26.86
03/09/04	1.475	134.91	1.035	1.019	0.0010	0.0867	0.0529	0.1000	99.550	116.83	1.0827	126.49	10,646.95	1,030.23	9,587.90	1,868.97	4.503	1.15	373.00	28.98	26.69
03/09/05	1.440	135.64	0.935	0.912	0.0010	0.0858	0.0529	0.1000	99.630	116.83	1.0931	127.7	10,650.77	1,026.21	9,503.34	1,858.24	4.347	1.14	377.70	28.88	26.35
03/09/08	1.455	135.80	0.940	0.885	0.0020	0.0858	0.0541	0.1000	99.635	116.85	1.1096	129.64	10,683.76	1,027.94	9,586.29	1,888.62	4.426	1.14	375.20	28.85	26.41
03/09/09	1.600	134.51	0.935	0.968	0.0020	0.0842	0.0566	0.1000	99.600	116.39	1.1126	129.49	10,922.04	1,045.71	9,507.20	1,873.43	4.355	1.14	381.80	29.18	26.44
03/09/10	1.550	135.00	0.975	0.941	0.0020	0.0817	0.0554	0.1000	99.605	116.74	1.1202	130.77	10,856.32	1,043.98	9,420.46	1,823.81	4.271	1.14	380.10	29.35	26.52
03/09/11	1.480	136.00	0.975	0.861	0.0010	0.0808	0.0541	0.1000	99.640	117.15	1.1216	131.39	10,546.33	1,023.93	9,459.76	1,846.09	4.314	1.14	379.80	28.82	26.48
03/09/12	1.520	135.63	0.925	0.872	0.0010	0.0808	0.0550	0.1000	99.650	117.06	1.1154	130.57	10,712.81	1,042.64	9,471.55	1,855.03	4.252	1.14	375.90	28.27	25.94
03/09/15	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	0.0531	#N/A N.	#N/A N.	117.58	1.1276	132.58	#N/A N.A.	#N/A N.A.	9,448.81	1,845.70	4.267	1.14	374.60	28.14	25.79
03/09/16	1.455	136.38	0.935	0.822	0.0010	0.0800	0.0556	0.1000	99.690	116.33	1.1213	130.46	10,887.03	1,062.07	9,567.34	1,887.25	4.275	1.14	373.60	27.56	25.59
03/09/17	1.425	136.55	0.935	0.824	0.0010	0.0800	0.0541	0.1000	99.680	116.34	1.1197	130.26	10,990.11	1,072.57	9,545.65	1,883.10	4.178	1.14	376.30	27.03	25.16
03/09/18	1.370	137.19	0.860	0.793	0.0020	0.0800	0.0544	0.1000	99.685	115.68	1.1274	130.4	11,033.32	1,075.73	9,659.13	1,909.55	4.162	1.14	376.70	27.17	24.90
03/09/19	1.380	137.05	0.820	0.799	0.0010	0.0800	0.0525	0.1000	99.675	115.36	1.1281	130.13	10,938.42	1,070.03	9,644.82	1,905.70	4.160	1.14	381.90	27.03	24.82
03/09/22	1.225	138.50	0.825	0.708	0.0020	0.0800	0.0519	0.1000	99.690	111.66	1.1481	128.21	10,475.10	1,043.20	9,535.41	1,874.62	4.216	1.14	387.20	26.96	24.82
03/09/23	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	0.0543	#N/A N.	#N/A N.	111.21	1.1485	127.72	#N/A N.A.	#N/A N.A.	9,576.04	1,901.72	4.205	1.14	385.90	26.93	25.14
03/09/24	1.265	138.20	0.825	0.731	0.0020	0.0800	0.0530	0.1000	99.690	111.49	1.1474	127.93	10,502.29	1,043.66	9,425.51	1,843.70	4.133	1.14	387.50	28.05	25.59
03/09/25	1.380	137.35	0.750	0.797	0.0010	0.0800	0.0530	0.1000	99.655	111.83	1.1488	128.47	10,310.04	1,017.39	9,343.96	1,817.24	4.081	1.14	385.00	28.10	26.37
03/09/26	1.395	137.09	0.820	0.837	0.0010	0.0800	0.0543	0.1000	99.635	112.09	1.1473	128.62	10,318.44	1,021.06	9,313.08	1,792.07	4.000	1.14	380.80	28.16	26.11
03/09/29	1.440	136.77	0.875	0.844	0.0010	0.0950	0.0593	0.1075	99.635	111.65	1.1409	127.38	10,229.57	1,010.82	9,380.24	1,824.56	4.075	1.16	382.40	28.40	26.38
03/09/30	1.380	136.98	0.845	0.830	0.0130	0.0933	0.0618	0.1075	99.635	110.36	1.1686	128.96	10,219.05	1,018.80	9,275.06	1,786.94	3.938	1.16	385.40	29.20	26.82
03/10/01	1.425	136.89	0.864	0.799	0.0010	0.0892	0.0619	0.1067	99.660	111.15	1.1688	129.89	10,361.24	1,029.94	9,469.20	1,832.25	3.932	1.15	384.30	29.39	27.08
03/10/02	1.390	137.32	0.840	0.743	0.0010	0.0883	0.0606	0.1067	99.695	111.18	1.1683	129.89	10,593.53	1,057.24	9,487.80	1,836.22	3.993	1.15	383.10	29.84	27.60
03/10/03	1.380	137.50	0.800	0.741	0.0010	0.0883	0.0600	0.1067	99.695	110.49	1.1698	129.26	10,709.29	1,066.86	9,572.31	1,880.57	4.199	1.15	369.40	30.40	27.85
03/10/06	1.410	137.44	0.785	0.740	0.0010	0.0883	0.0590	0.1067	99.690	110.98	1.1577	128.49	10,740.14	1,068.84	9,594.98	1,893.46	4.170	1.15	372.70	30.47	28.19
03/10/07	1.385	137.64	0.789	0.724	0.0010	0.0883	0.0590	0.1067	99.700	110.51	1.1768	130.04	10,820.33	1,075.01	9,654.61	1,907.85	4.257	1.15	377.20	30.41	28.11
03/10/08	1.335	137.98	0.776	0.698	0.0010	0.0883	0.0614	0.1067	99.720	109.79	1.1795	129.49	10,542.20	1,054.75	9,630.91	1,893.78	4.236	1.15	375.40	29.81	27.99
03/10/09	1.280	138.19	0.785	0.675	0.0000	0.0883	0.0576	0.1067	99.725	109.11	1.1811	128.88	10,531.44	1,057.54	9,680.00	1,911.90	4.291	1.15	369.20	31.01	28.60
03/10/10	1.350	137.79	0.730	0.702	0.0010	0.0883	0.0551	0.1067	99.725	108.34	1.1789	127.74	10,786.04	1,073.88	9,674.68	1,915.31	4.269	1.15	373.60	31.97	29.88
03/10/13	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	0.0551	#N/A N.	#N/A N.	108.54	1.1683	126.8	#N/A N.A.	#N/A N.A.	9,764.38	1,933.53	4.251	1.15	375.20	31.95	29.75
03/10/14	1.485	136.80	0.730	0.758	#####	0.0883	0.0538	0.1067	99.715	110.18	1.1657	128.42	10,966.43	1,087.31	9,812.98	1,943.19	4.344	1.15	375.70	31.82	29.78
03/10/15	1.410	137.20	0.780	0.745	0.0020	0.0883	0.0563	0.1067	99.700	109.28	1.1689	127.72	10,899.95	1,080.30	9,803.05	1,939.10	4.397	1.16	372.60	31.77	29.66
03/10/16	1.435	137.15	0.780	0.748	0.0020	0.0883	0.0550	0.1067	99.700	109.82	1.1621	127.63	11,025.15	1,090.85	9,791.72	1,950.14	4.459	1.16	372.70	31.54	29.74
03/10/17	1.435	136.80	0.780	0.787	0.0010	0.0883	0.0538	0.1067	99.670	109.73	1.1605	127.35	11,037.89	1,094.59	9,721.79	1,912.36	4.388	1.17	371.80	30.68	28.89
03/10/20	1.495	135.98	0.910	0.888	0.0010	0.0883	0.0563	0.1067	99.575	109.95	1.1662	128.21	11,161.71	1,105.59	9,777.94	1,925.14	4.382	1.17	374.00	30.35	28.40
03/10/21	1.480	136.39	0.880	0.849	0.0020	0.0883	0.0550	0.1075	99.630	110.26	1.1635	128.29	11,031.52	1,093.31	9,747.64	1,940.90	4.342	1.17	381.70	30.18	28.40
03/10/22	1.440	136.95	0.835	0.796	0.0010	0.0883	0.0556	0.1075	99.660	109.69	1.1672	128.02	10,889.62	1,073.75	9,598.24	1,898.07	4.251	1.17	386.50	29.74	28.16
03/10/23	1.345	137.87	0.753	0.730	0.0020	0.0883	0.0556	0.1075	99.690	109.69	1.1786	129.27	10,335.16	1,017.03	9,613.13	1,885.51	4.316	1.16	384.70	30.12	28.10
03/10/24	1.370	137.74	0.789	0.750	0.0020	0.0883	0.0550	0.1075	99.685	109.59	1.1765	128.96	10,335.70	1,024.99	9,582.46	1,865.59	4.230	1.16	388.90	29.98	28.23
03/10/27	1.350	137.73	0.785	0.755	0.0010	0.0883	0.0550	0.1075	99.680	108.44	1.1767	127.61	10,454.12	1,032.88	9,608.16	1,882.91	4.259	1.16	387.90	29.92	28.12
03/10/28	1.405	137.40	0.785	0.775	0.0020	0.0883	0.0563	0.1075	99.675	108.52	1.1708	127.04	10,561.01	1,045.18	9,748.31	1,932.26	4.177	1.17	383.20	29.56	27.77
03/10/29	1.420	137.37	0.785	0.778	0.0020	0.0883	0.0563	0.1075	99.670	107.98	1.1712	126.44	10,739.22	1,057.14	9,774.53	1,936.56	4.295	1.16	386.80	28.91	27.58
03/10/30	1.445	137.14	0.782	0.792	0.0020	0.0883	0.0575	0.1067	99.665	108.01	1.1713	126.48	10,695.56	1,053.85	9,786.61	1,932.69	4.342	1.16	384.40	28.47	26.98
03/10/31	1.465	136.96	0.807	0.804	0.0020	0.0883	0.0563	0.1067	99.665	109.02	1.1642	126.94	10,559.59	1,043.36	9,801.12	1,932.21	4.293	1.17	384.60	29.11	27.17
03/11/03	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	#N/A N.	0.0563	#N/A N.	#N/A N.	110.38	1.1602	128.06	#N/A N.A.	#N/A N.A.	9,858.46	1,967.70	4.340	1.17	377.10	28.90	27.19
03/11/04	1.500	136.68	0.822	0.840	0.0010	0.0883	0.0545	0.1067	99.640	110.37	1.1470	126.58	10,847.97	1,070.01	9,838.83	1,957.96	4.295	1.17	380.00	28.75	26.77
03/11/05	1.520	136.49	0.860	0.850	0.0010	0.0883	0.0563	0.1067	99.620	109.67	1.1453	125.6	10,837.54	1,063.31	9,820.83	1,959.37	4.352	1.17	382.70	30.30	27.49
03/11/06	1.525	136.35	0.880	0.861	0.0010	0.088															

Weekly 金融市場 Today's Viewpoint

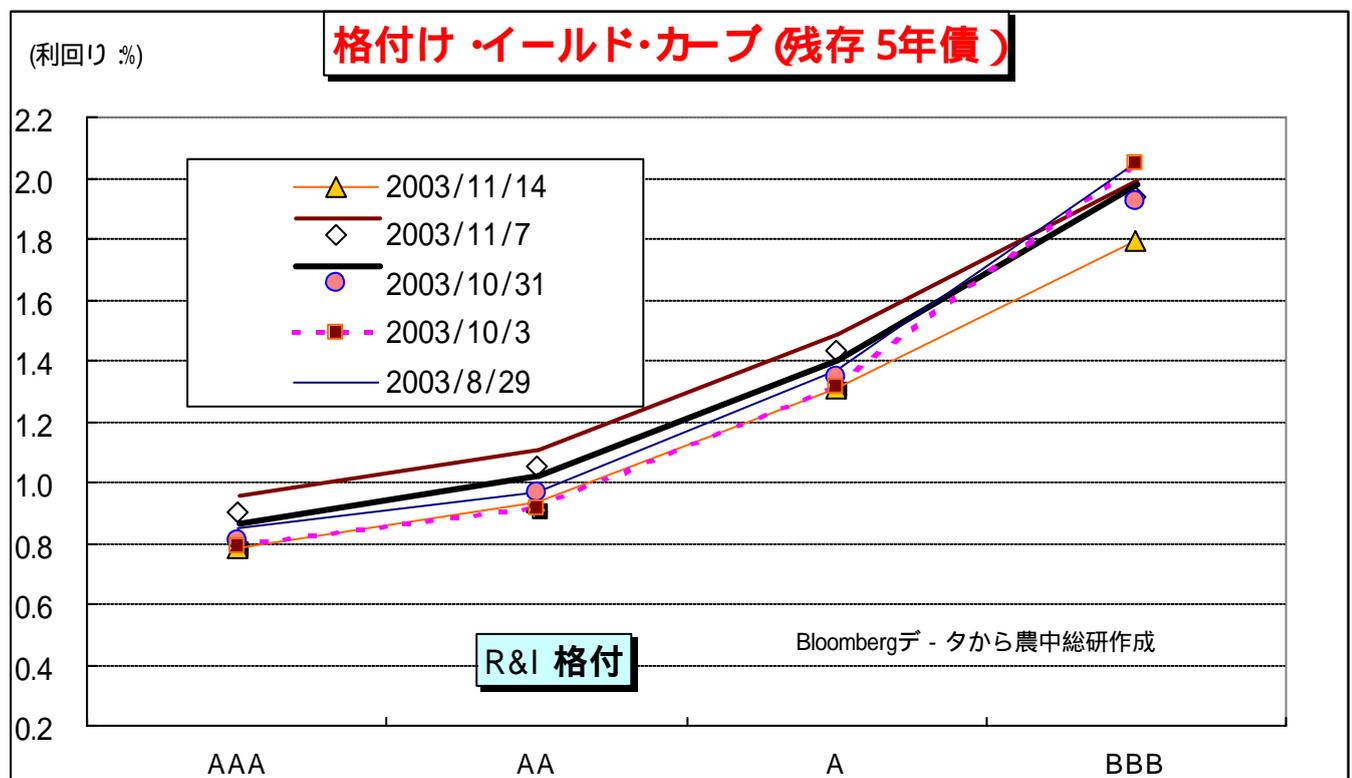
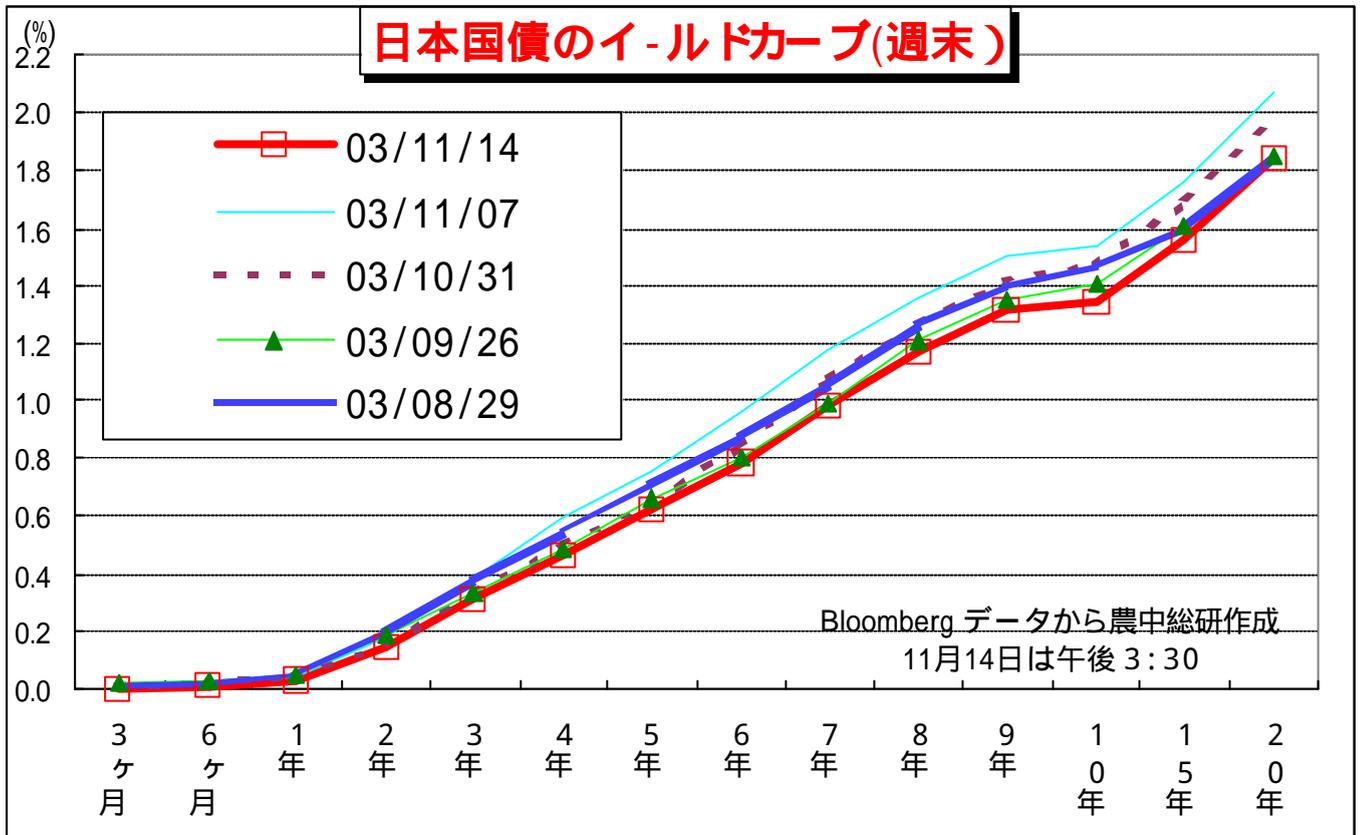
(03/11/14) 農林中金総合研究所 調査第二部 国内経済金融班 (全14ページ)



無断転載を禁ず。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任でお願いいたします。

Weekly 金融市場 Today's Viewpoint

(03/11/14) 農林中金総合研究所 調査第二部 国内経済金融班 (全14ページ)



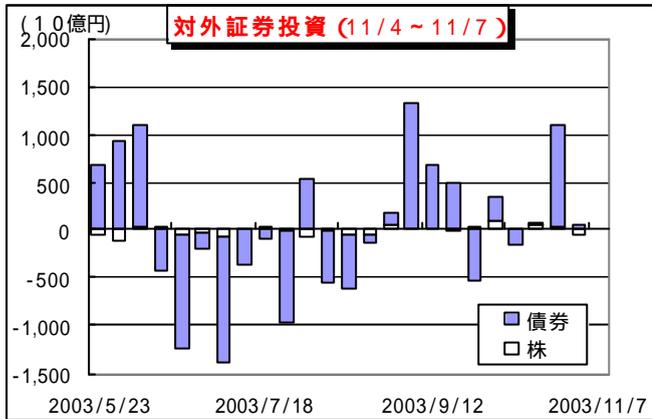
無断転載を禁ず。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任でお願いいたします。

Weekly 金融市場 Today's Viewpoint

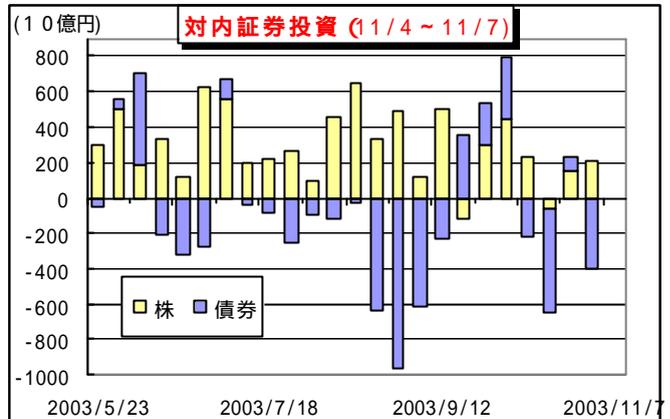
(03/11/14) 農林中金総合研究所 調査第二部 国内経済金融班 (全14ページ)

内外経済指標の動向

<国内>



外国株は493億円の売り越し(6過ぶり)。一方、外国債券は656億円の買い越し(3過連続)。



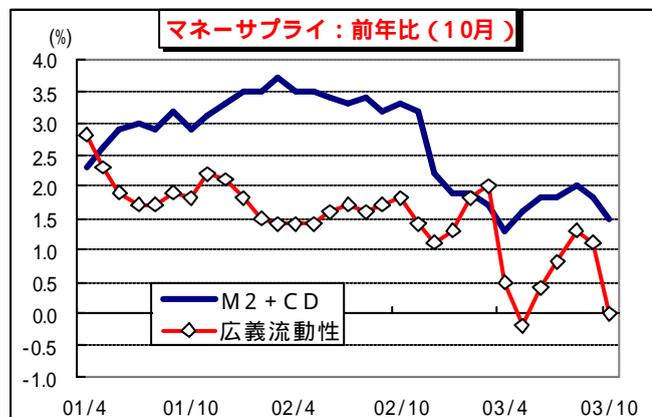
日本への証券投資について、株は2,127億円の買い越し(2過連続)。一方、債券は3,943億円の売り越し(2過ぶり)。



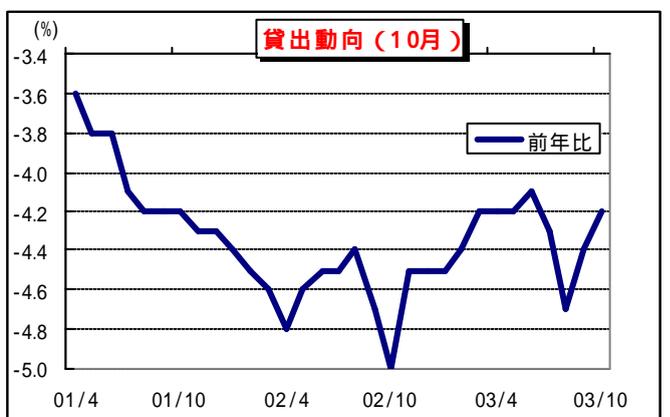
10月末の外貨準備は6262.7億ドルで、2カ月連続で過去最高を更新。



10月末の外貨準備は、6048.7億ドルで、2カ月連続で過去最高を更新。



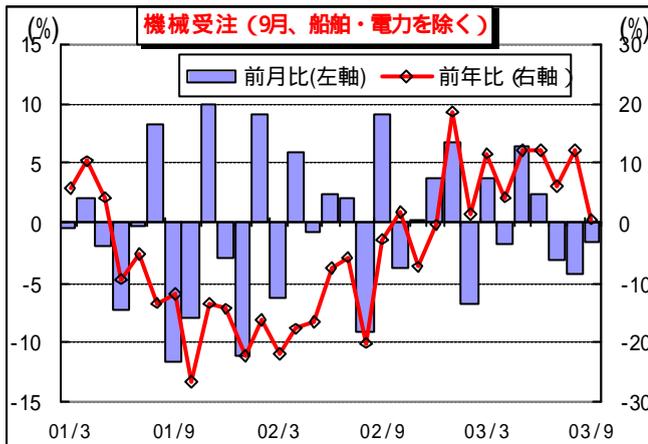
10月のM2 + CDは前年同月比1.5%増の678.7兆円となり、伸び率は8月(同+2.0%)をピークに縮小が続いている。郵便貯金を含む広義流動性は1340.7兆円と前年同月比1.3%増加。



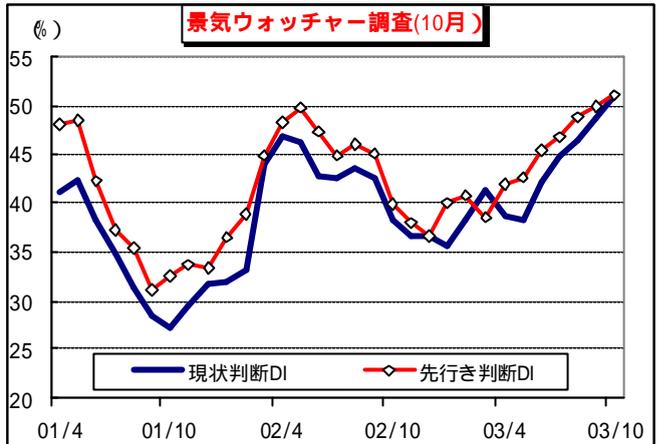
9月の貸出・資金吸収動向によると、銀行と信用金庫合計の貸出残高(月中平均)は、前年同月比4.2%の459兆557億円。3カ月連続で前年水準を下回った。

Weekly 金融市場 Today's Viewpoint

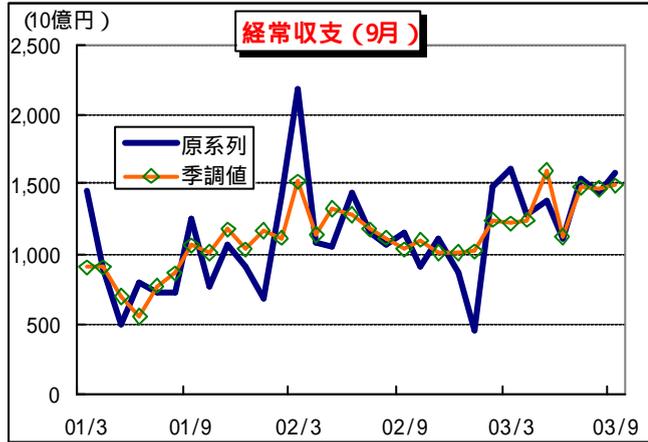
(03/11/14) 農林中金総合研究所 調査第二部 国内経済金融班 (全14ページ)



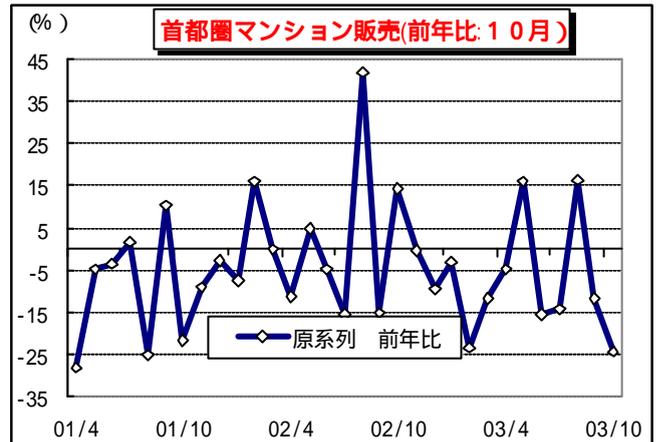
9月の機械受注（船舶・電力を除く）は、前月比 1.6%と3カ月連続のマイナス。7～9月期は前期比 2.9%と3期ぶりの減少。同時に発表された10～12月期の見通しでは、同12.0%と再び増加することが見込まれている。



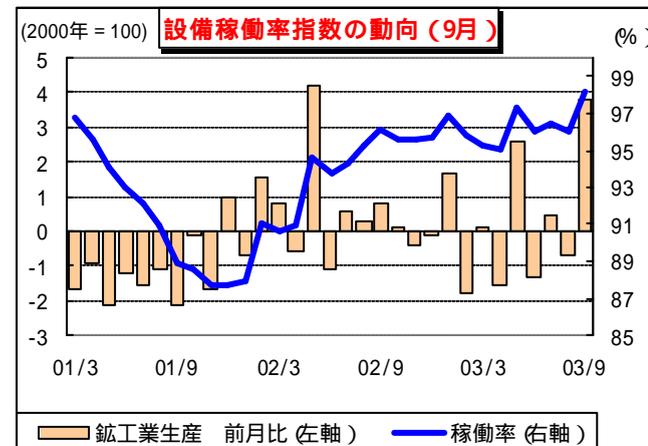
内閣府 景気ウォッチャー調査の現状判断DIは、50.8と前月から2.2ポイント上昇（5カ月連続の改善）。判断基準となる50を上回ったのは、2000年7月以来。先行き判断DIも前月から1.2ポイント改善して51.1（7カ月連続の改善）。



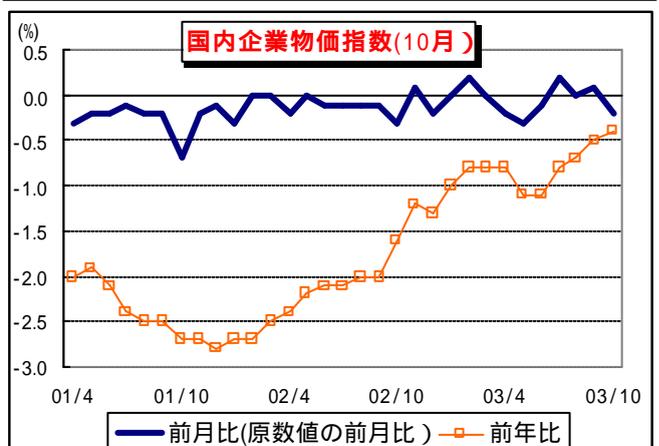
9月の経常収支は1兆5,890億円の黒字。季節調整済み前月比2.0%、前年同月比37.6%といずれも黒字幅拡大。内訳は貿易収支が1兆2,944億円の黒字（輸出が前年比9.3%、輸入が同9.6%）、サービス収支が3,625億円の赤字、所得収支が7,028億円の黒字。



10月の首都圏の発売戸数は前年同月比 24.3%の6,739戸（2カ月連続でマイナス）。契約率は76.1%と、前月から2.1%ポイント上昇。



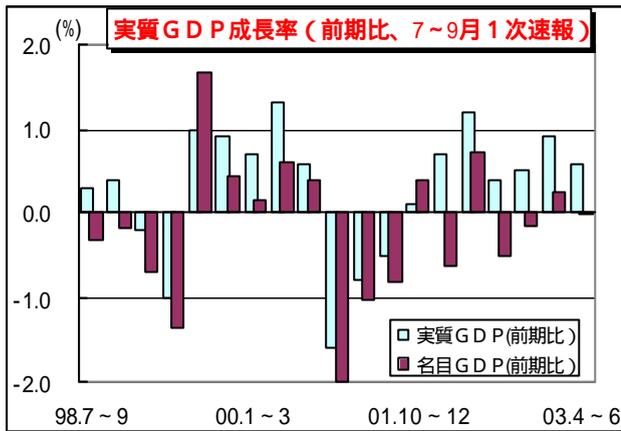
鉱工業生産確報（9月）は前月比+3.8%と、速報から0.8%ポイント上方修正された。製造工業稼働率指数（季節調整値）は前月比2.0%ポイント上昇の98.1。



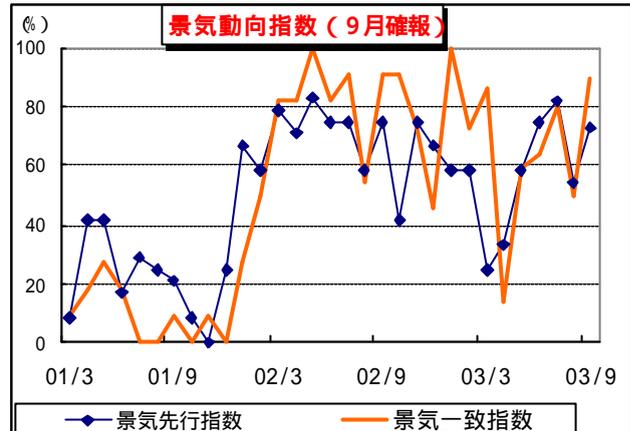
10月の国内企業物価指数（2000年=100、速報値）は94.8となり、前年同月比 0.4%。米など農林水産物等は上昇したが、電気機器、輸送用機器、一般機器などの下落が継続し、38カ月連続の前年割れ。ただし、下落幅は縮小傾向にある。

Weekly 金融市場 Today's Viewpoint

(03/11/14) 農林中金総合研究所 調査第二部 国内経済金融班 (全14ページ)



実質GDP成長率は前期比0.6%と7期連続のプラスとなった。前期比成長率に対する内外需寄与度はそれぞれ0.4%、0.2%。一方、名目GDP成長率は同 0.0%と、再びマイナスに転じた。GDPデフレーターは前年比 2.6%と、前期より下落幅拡大。

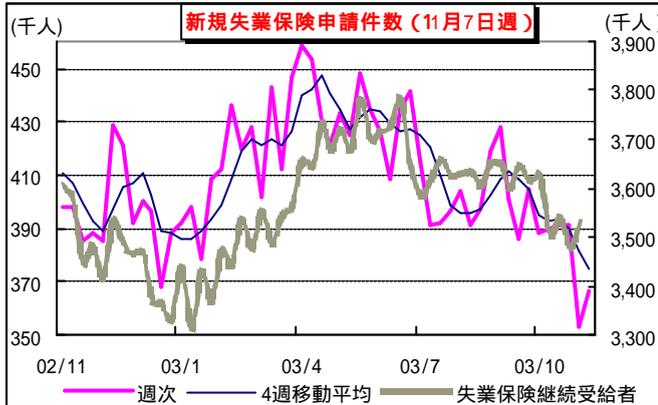


先行Dは72.7%と下方修正(速報値80.0%)されたが、一致Dは90.0%(同83.3%)、遅行Dは80.0%(同50.0%)と、ともに上方修正された。

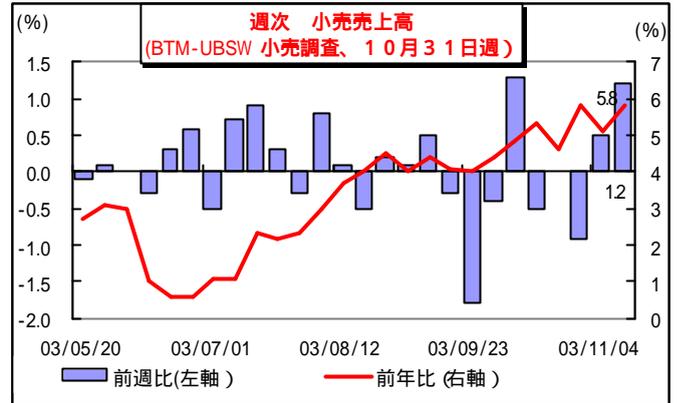
Weekly 金融市場 Today's Viewpoint

(03/11/14) 農林中金総合研究所 調査第二部 国内経済金融班 (全14ページ)

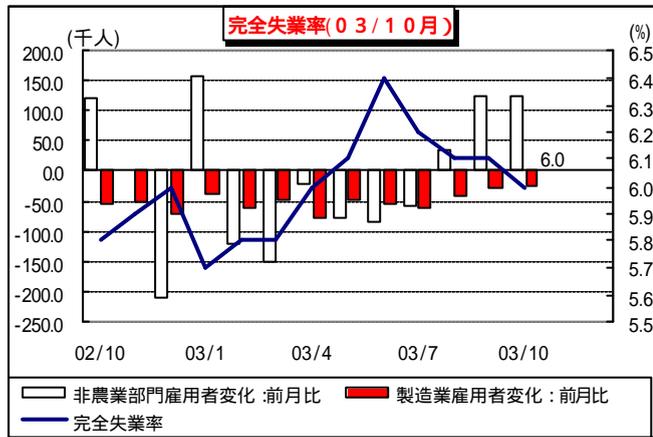
<米 国>



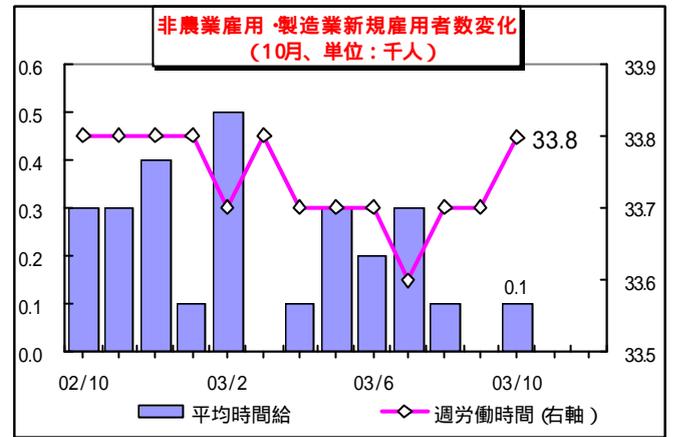
新規失業保険申請は3万6千6人で4週移動平均では3万7千5千人へ。失業保険継続受給者(11/2日週)は前週から4千9千人増の3万5千2百77人。



前週比+1.2%、前年比+5.8%。



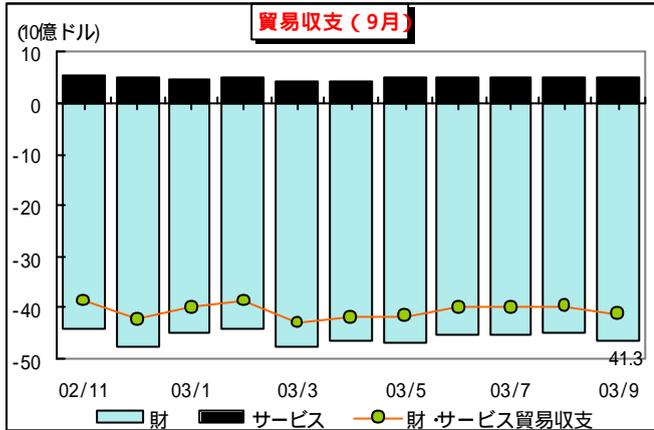
失業率は前月から0.1%改善の6.0%。非農業部門雇用者は前月から12万6千人増。2ヶ月連続の前月比プラス。BN予測+6万5千人増を上回る。9月の非農業部門雇用者は6万9千人に上方修正。製造業雇用者数は2万4千人減。



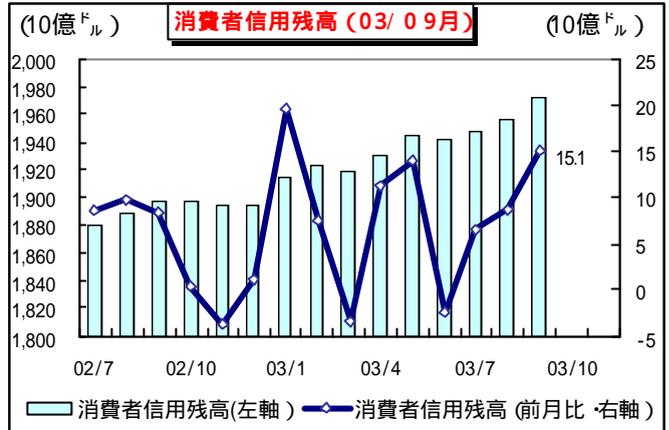
平均時給は前月比+0.1%、前年比+2.4%。週平均労働時間は33.8時間。

Weekly 金融市場 Today's Viewpoint

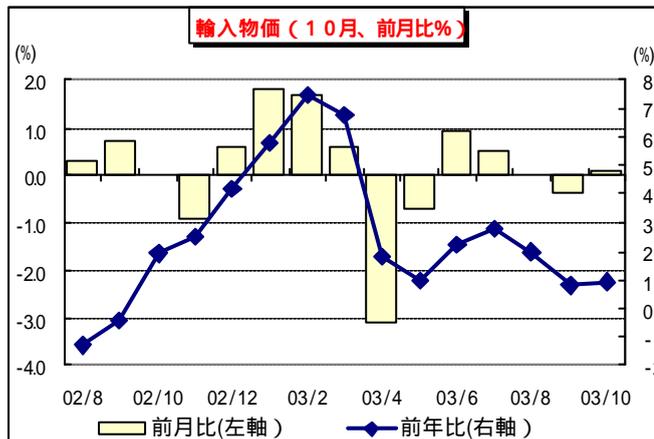
(03/11/14) 農林中金総合研究所 調査第二部 国内経済金融班 (全14ページ)



貿易収支は41.3億ドル(前月から2.1億ドル増)の赤字。財輸出は+2.1億ドル増の59.8億ドルに対し、財輸入が+3.9億ドル増の106.3億ドル。



9月の消費者信用残高は、前月比6.9億ドル増の151億ドル。自動車ローンが3.2億ドル減。



前月比+0.1%上昇、前年比+0.9%上昇。石油を除いた輸入物価指数は前月比 0.1%。

内外経済指標の動向は、Bloombergデータから農中総研作成